

家族教室だより

令和5年8月発行

みなさん、こんにちは。厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

第1回家族教室（6月15日開催）は、べつみょう薬局の薬剤師 坂本京平先生をお招きし、統合失調症の発症や治療薬についてを分かりやすくお話いただきました。その後の座談会では、参加者のみなさまが日常生活で困っていること（お薬の飲み方など）について、より具体的で丁寧なアドバイスいただきました。



統合失調症とは

- ・ 行動、感情を一つの目的に沿って「統合」する能力が長期間にわたり低下する
- ・ 発症時期は男性：10代終わりから20代半ば 女性：20代半ばから30代
- ・ 症状は陽性症状、陰性症状、認知機能障害の3つに分けられる

症状

陽性症状

- 妄想
- 幻覚
- 思考障害



陰性症状

- 感情鈍麻
- 思考の貧困
- 意欲の欠如
- 自閉



認知機能障害

- 記憶力低下
- 注意・集中力低下
- 判断力の低下



薬物療法

心理社会療法

症状改善と再発予

治療（抗精神病薬）

第二世代：副作用が起こりにくく、陰性症状にも効果がある

- リスペリドン
- パリペリドン
- オランザピン
- クエチアピン
- アリピプラゾール
- ブレクスピプラゾール

第一世代：使用は減り、第二世代が多く使われるようになっている

- クロルプロマジン
- レボメプロマジン
- ハロペリドール
- ブロムペリドール
- スルピリド
- スルトプリド
- モサプラミン



薬の副作用

病気の治療に関わる主作用に対し、それと異なる作用や有害な作用

- (例)：風邪薬→眠気、口が渇くなど
- 糖尿病の薬→低血糖など
- 血圧の薬→低血圧、立ちくらみなど



●抗精神病薬で起こる副作用

- ・ **消化器症状**：悪心、嘔吐、腹部不快感、口渇、便秘など
- ・ **悪心**：嘔吐しそうな不快感、むかつき（吐き気）のこと
長くても2時間程度で落ち着いてくる

* 対応方法

- 食事内容を変える（例）消化のいいものに変える
- 味付けを変える
- 食事量を減らす
- 少量を複数回に分けて食べる

* 服用を始める前に、吐き気止めや胃薬を服用する場合もある

- ・ **泌尿器症状**：排尿障害と蓄尿障害に分けられる

- * 排尿障害：勢いがなくなる、出にくくなる、ゆっくりになる、尿がでない
- * 蓄尿障害：頻尿、尿意切迫、失禁

* 対応方法

- トイレの回数や原因となる病気の確認
- 尿が出なくなる場合は薬の中止

- ・ **過鎮静**：眠気、倦怠感、頭がぼーっとする、記憶がはっきりしないなど
体調の変化とともに出現することがある

* 注意点

- 展等によるケガ、骨折 症状と副作用の混同

* 対応方法

- 体調をみながら薬の変更をする

- ・ **錐体外路障害**：動作が遅くなる、歩き方がふらふらする、一歩目がでない、手足が固まるなど

- ・ **悪性症候群（重篤な副作用）**：発熱、意識障害、錐体外路障害、自律神経障害など

* 起こる時期

- 薬の投与開始、増量時、中止したときに起こる

* 頻度

- 0.07～2.2%

* 治療（早期発見が大切）

- 服薬の中止、補液、薬物治療など

- ・ その他：便秘、高プロラクチン血症、糖代謝異常 など



発行・問合せ先

今治市中央保健センター

（今治市役所 健康推進課）

住所：今治市南宝来町1-6-1

TEL：0898-36-1533

